様式１－１

令和4年度　調布市立若葉小学校　授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○かしこく　　しっかり考え，進んで学ぶ子 ○やさしく　　思いやりのある子 ○たくましく　　明るくたくましい子	
目指す学校像（ビジョン） 例）学校像，教員像，児童・生徒像	
今よりもっと笑顔があふれるために，『たい』が泳ぐ学校づくり	
ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	「持続可能な未来を創造する児童」を目指し，その育成のため， 「子どもたちの笑顔があふれる学校」 「教職員が子どものために生き生きと働く学校」 「保護者，地域が子どもを通わせたい学校」づくりを推進する。

教科	目指す学校像（ビジョン）を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	○自分が思ったことや考えたことを友達に伝えたり，書いて表現したりする力。 ○文章を正しく読んだり，正しく書いたりする力。	○板書・発問・提示資料・ワークシートを工夫する。 ○友達の意見と比較したり，考えを広げたり，新たな疑問を生み出したりできるよう，日常的にペアやグループでの対話的な学習を取り入れる。 ○読書活動を積極的に行わせ，語彙や優れた表現を獲得できるようにする。また，主語と述語に着目して読むこと，構成を考えながら書くこと，自分の思いや考えが聞き手に伝わるよう音読や朗読することを日常的に指導する。
社会	○社会の事象を相互に関連付け，多角的に考える力。 ○主体的に学習の問題を解決したり学んだことを自分の生活に生かしたりとする態度。	○課題を解決するために，映像教材や現物資料を用意して，社会的事象の特徴や傾向等を読み取る。また，思考ツールを活用しながら，比較や分類をして，多角的に読み取らせる活動を取り入れていく。 ○単元のまとめでは，学んだことが自分の身近な事象とどのように関わっているか考えさせたり，自分の生活に生かせることや具体的な取り組みについて話し合ったりする活動を取り入れる。
算数	○数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える力。 ○数学的活動の楽しさやよさに気付いて問題解決しようとする態度，算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度。	○板書・発問・提示資料・ワークシートを工夫する。 ○目的に応じて数・式・図・表・グラフ等を活用して，根拠を基に筋道を立てて考える活動を取り入れる。 ○算数を日常の事象を結び付ける活動や具体物を使った操作的・作業的な活動，表や図，グラフなどからきまりを発見するなどの探究的な活動を，積極的に学習活動に取り入れる。
理科	○自然の事物・現象に興味をもち，学び育ち合う態度。 ○調べた事や考えたことなどを記録していく力。 ○各学年の発達段階に応じた問題解決の能力。	○興味をもてるような事象を数多く紹介するとともに，グループや全体などで話し合う活動を数多く取り入れていく。自分の生活体験を想起させ，関連付けさせながら学習を進めていく。 ○図や文章などで，考えたことや話し合ったことを記録していく機会を多くする。 ○比べたり，関係を考えさせたり，条件を合わせたり，多面的に考えたりという方法を実態に合わせて教え，活用しながら問題解決に取り組ませる。
生活	○活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付く力。 ○身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，自分自身や自分の生活について考え表現する力。 ○身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしたりしようとする態度。	○植物・野菜の栽培など，実体験の活動を日常的に取り入れる。また，一人一鉢活動を設定するなど気付きを得られる機会を設定する。 ○体験したり観察したりして気付いたことをカード等に表現して，友達同士で交流する活動を取り入れる。 ○地域の人材（ゲストティーチャー等）との交流を積極的に設定する。

音楽	○音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わり，表現する力。 ○感じ取ったものを表現し伝え合う力。	○音や音楽を，そのかたちづくっている要素とその働きの視点で，視覚的にも捉えやすい授業の展開をする。 ○互いの演奏やその思いや意図を発表し合い，言葉にして伝え合う機会を多く設定する。
図画工作	○様々な表現の方法として技法を習得し，自信をもって制作に取り組む力。 ○進んで友達や作家の作品を鑑賞したりよさを発見し紹介したりする態度。 ○他者に様々な感じ方や考えがあることを知り，鑑賞や発想を広げる力。	○図工の基礎を学び習得することで，だれもが制作に自信をもって取り組めるようにする。 ○友達や画家の作品を見たり図工室の画集や図録，資料集を気軽に手に取ったりすることで全員が多角的なものの見方や表現があることや，それらがもつよさに気が付くようにする。 ○鑑賞カードや制作カードは課題ごとに書き方のポイントを確認し，自分の考えを言葉で表現できるようにする。
家庭	○日常生活の中から衣食住，消費や環境等の問題を見出し，進んで課題を解決する力。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，家族の一員として生活をよりよくしようとする態度。	○食生活，衣生活では実践的な活動を行い，課題解決に向けて実践した過程や結果を振り返って考えたことを発表する活動を設定する。 ○家庭生活を構成している家族等の「人」や衣服や食物等の「もの」「時間」「金銭」などの要素に関心をもたせ，生涯にわたって家庭生活の基盤になることに気付かせ，自分たちができることについて考える活動を設定する。 家庭と連携し，日常生活でも実践することで基礎的な知識や技能を定着させられるようにする。
体育	○運動の特性に応じた運動の行い方を知り，自己の課題を見付けるとともに，友達との学び合いを通して基本的な動きを身に付ける力。 ○日常的に運動する楽しさや喜びを感じたり，健康で安全な生活について理解したりし，自ら進んで行動する力。	○準備運動を統一し，どのクラスでも一定の運動量を確保しながらメインの運動に入っていけるようにする。 ○自己の課題に合わせて適切に選んで練習できるようにする。ＩＣＴ機器を活用し，客観的に自身の動きを見ることで改善につなげていく。 ○業間や朝活動の時間を利用し，全校で色々な運動に取り組む時間を設定する。様々な運動経験を積ませることで，児童の運動技能を向上させるとともに，運動への関心・意欲を高める。 ○生活（保健）に関する授業と食育に関する授業を年間の中に全学年組み込み，生活と食に関する児童の関心を高める。 ○児童の生活環境実態調査に取り組んだり，講演会を行ったりすることで，児童の自身の生活に関する関心を高める。 ○第四中学校と連携をとり，四中校庭を活用し運動機会を増やしていく。
外国語	○「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて，考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力。 ○相手に配慮しながら，外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。	○言語材料の十分な反復練習や音読活動，ワークシートを用いた基礎的な書き取り活動をバランスよく取り入れるとともに，それらを実践する言語活動を各単元の内容に応じて適切に設定する。 ○各単元の題材を身近なこととして捉えるための「導入活動」や「発問」を行い，主体的にペア・グループ活動，スピーチ活動に参加できるようにする。実際の言語活動では，「よりよく伝え合える工夫」を考え実践させることで，コミュニケーションをとることの楽しさや意義に気付かせる。
道徳	○自己や他者の経験やその時の感じ方，考え方と照らしながら，自己理解を深める力。 ○様々な状況下において，人間としてどのように対処することが望まれるか判断する力。	○板書・発問・提示資料・ワークシートを工夫する ○他者と自分との考えの違いやそのよさについて気付かせ，相互理解を深めるために，ペアやグループで話し合う活動や役割演技等を積極的に取り入れる。 ○道徳的価値を自分との関わりで考えられるよう，日常の体験をもとに考える活動を多く取り入れる。
外国語活動	○「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」による実際のコミュニケーションにおいて，外国語を用いて自分の考えや気持ちを伝えられる力。 ○外国の言語やその背景にある文化に理解を深め，主体的に外国語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度。	○自分の考えや気持ちを構成できるように，各単元の題材と身近な生活とを結びつける「スモールトークを用いた導入活動」を取り入れる。「考えの構成→教師とのやりとり（集団）→児童同士のやり取り（ペア）→集団への発表」など，考えを構成し発信する言語活動を段階的に設定する。 ○AET との交流活動や ICT 機器による音声や映像資料を効果的に活用し，日本語と外国語の音声の違いや，文化・習慣の違いに気付かせる。児童の興味関心を広げられる発問や言語活動，歌やアクティビティーを多様に取り入れ，外国語をより身近に感じる環境づくりに取り組む。